



第95回定時株主総会

2025年6月24日

■ 報告事項 ■

1 第95期事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

2 第95期計算書類報告の件

■ 決議事項 ■

議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）
6名選任の件

議事の運営について

議事の進行

1

報告事項のご報告

2

議案の上程

3

報告事項に関する質疑・議案の審議

4

議案の採決

報告事項

企業集団の現況に関する事項

経済状況

緩やかな回復基調

不安定な国際情勢、物価上昇、金融資本市場の変動

日本

緩やかに回復

米国

堅調に拡大

中国

悪化に歯止めも足踏み状態

アセアン

堅調な成長を維持

インド

景気拡大の継続

自動車業界の現況

■四輪

日本

新車販売台数 前年比微増

米国

需要 堅調に推移

中国

ガソリン車の販売は減少

■二輪

インド

需要 堅調に推移

インドネシア

需要 堅調に推移

当社グループの取り組み

第12次中期経営計画 の推進

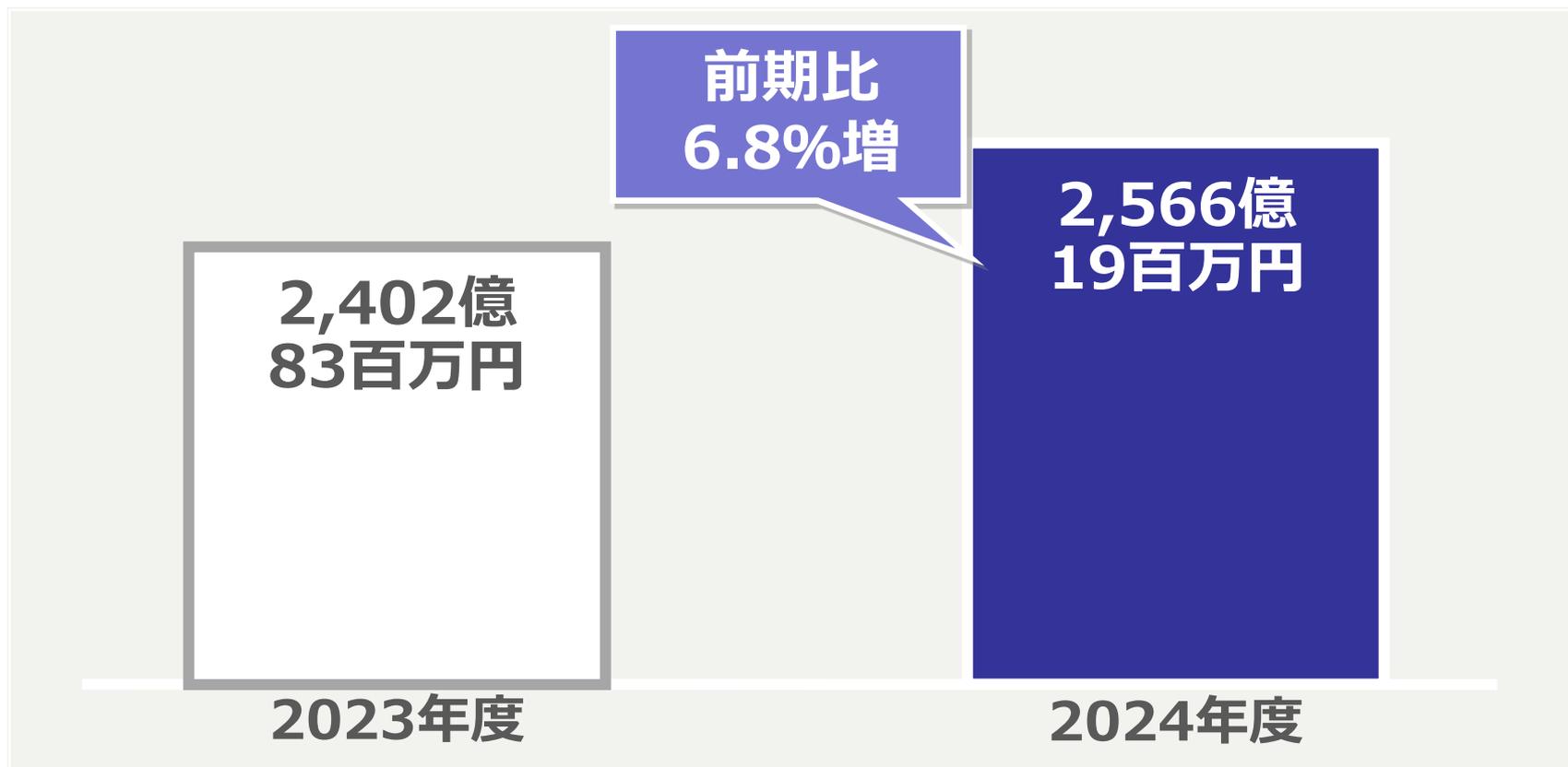
経営基盤の強化
基幹クラッチ事業の収益最大化

事業ポートフォリオ転換
EV/CASE領域
非モビリティ分野における
新事業開発を積極的に推進

当期の業績

売上収益

2,566億19百万円



2023年度

2024年度

144.63円

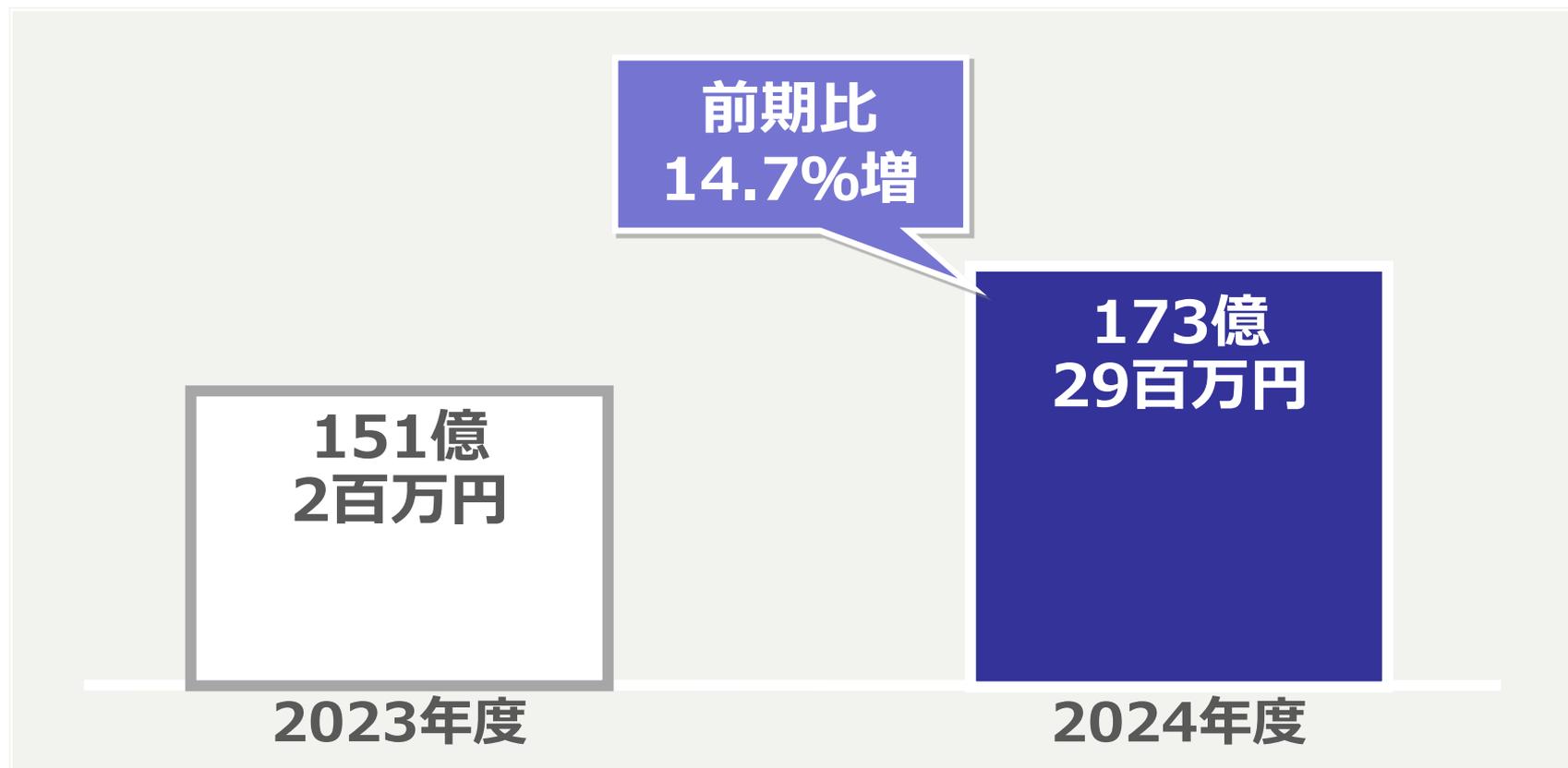
為替レート
(1米ドル)

152.58円

当期の業績

営業利益

173億29百万円



2023年度

2024年度

144.63円

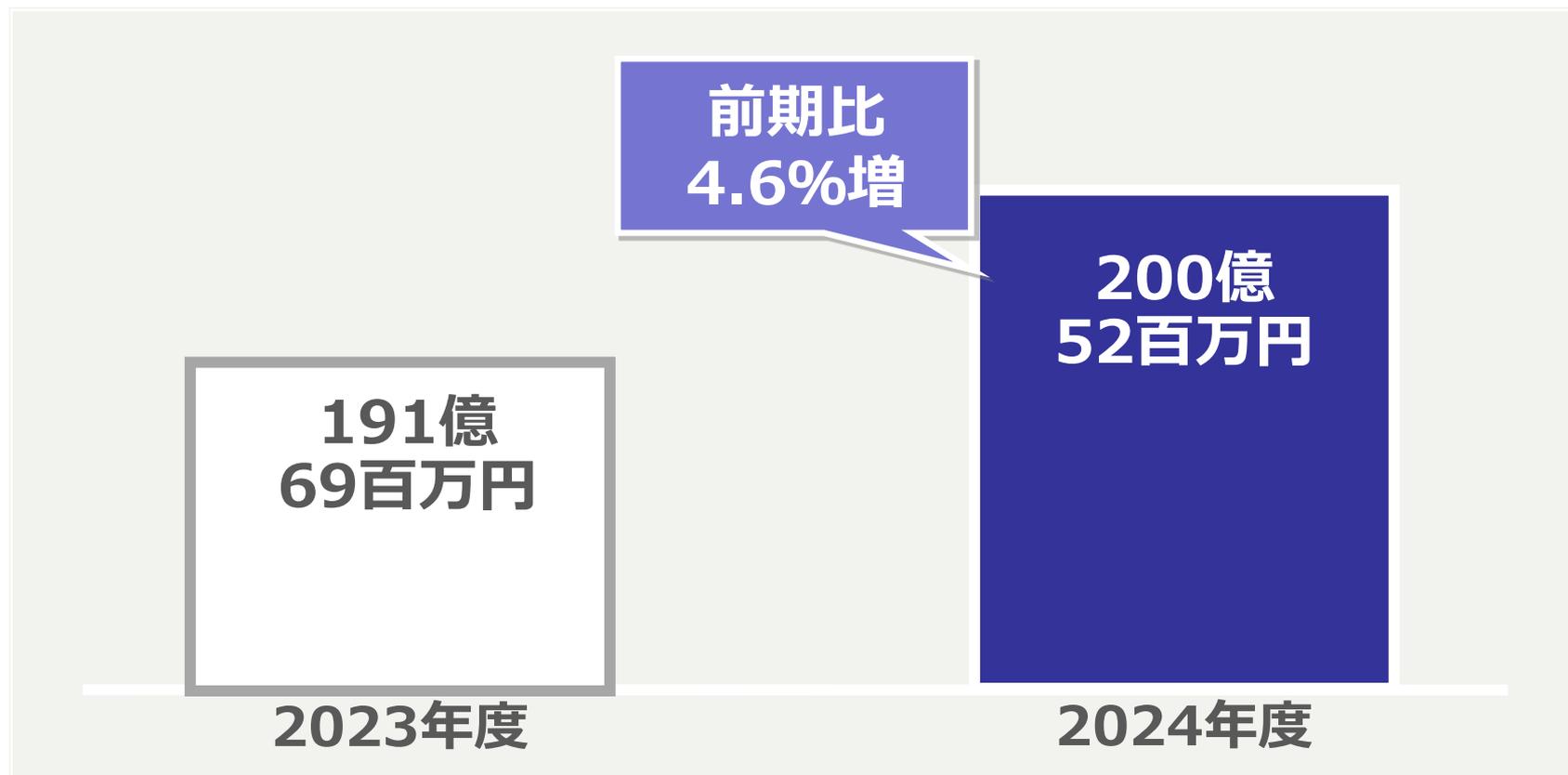
為替レート
(1米ドル)

152.58円

当期の業績

税引前当期利益

200億52百万円



2023年度

2024年度

144.63円

為替レート
(1米ドル)

152.58円

当期の業績

親会社の所有者に
帰属する当期利益

158億59百万円

前期比
29.7%増

122億
31百万円

2023年度

158億
59百万円

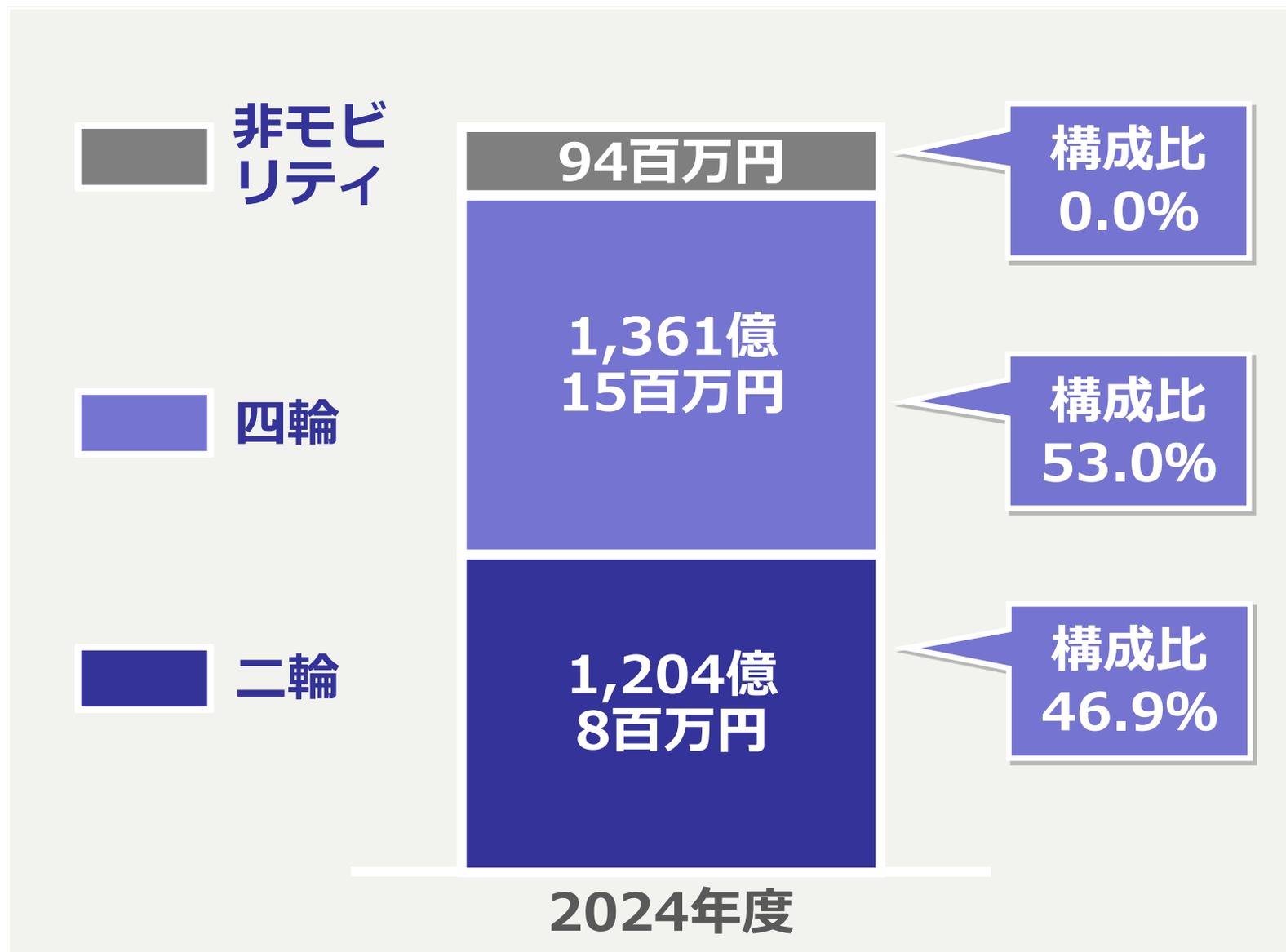
2024年度

144.63円

為替レート
(1米ドル)

152.58円

事業別売上収益



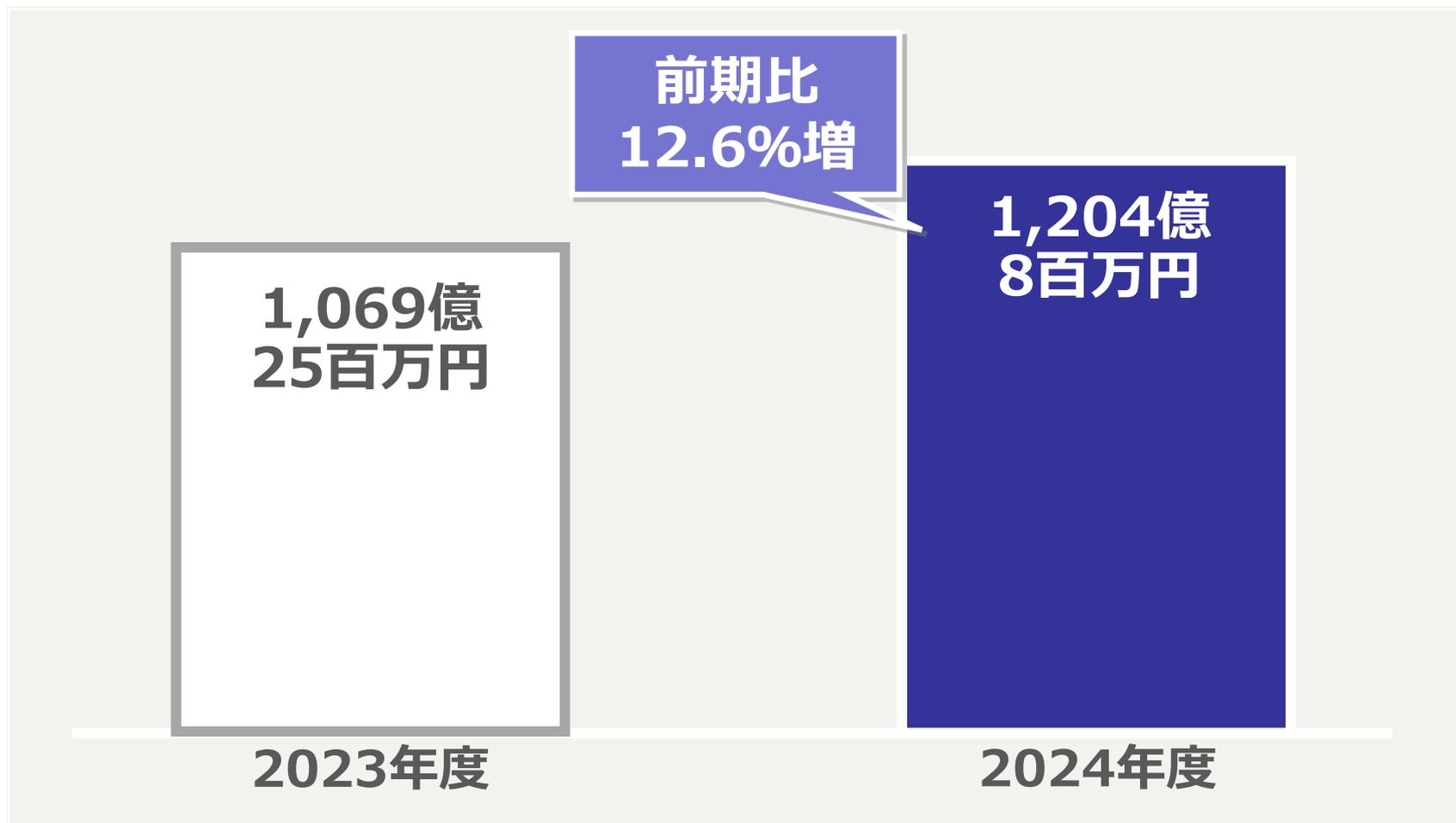


二輪事業

二輪事業

売上収益

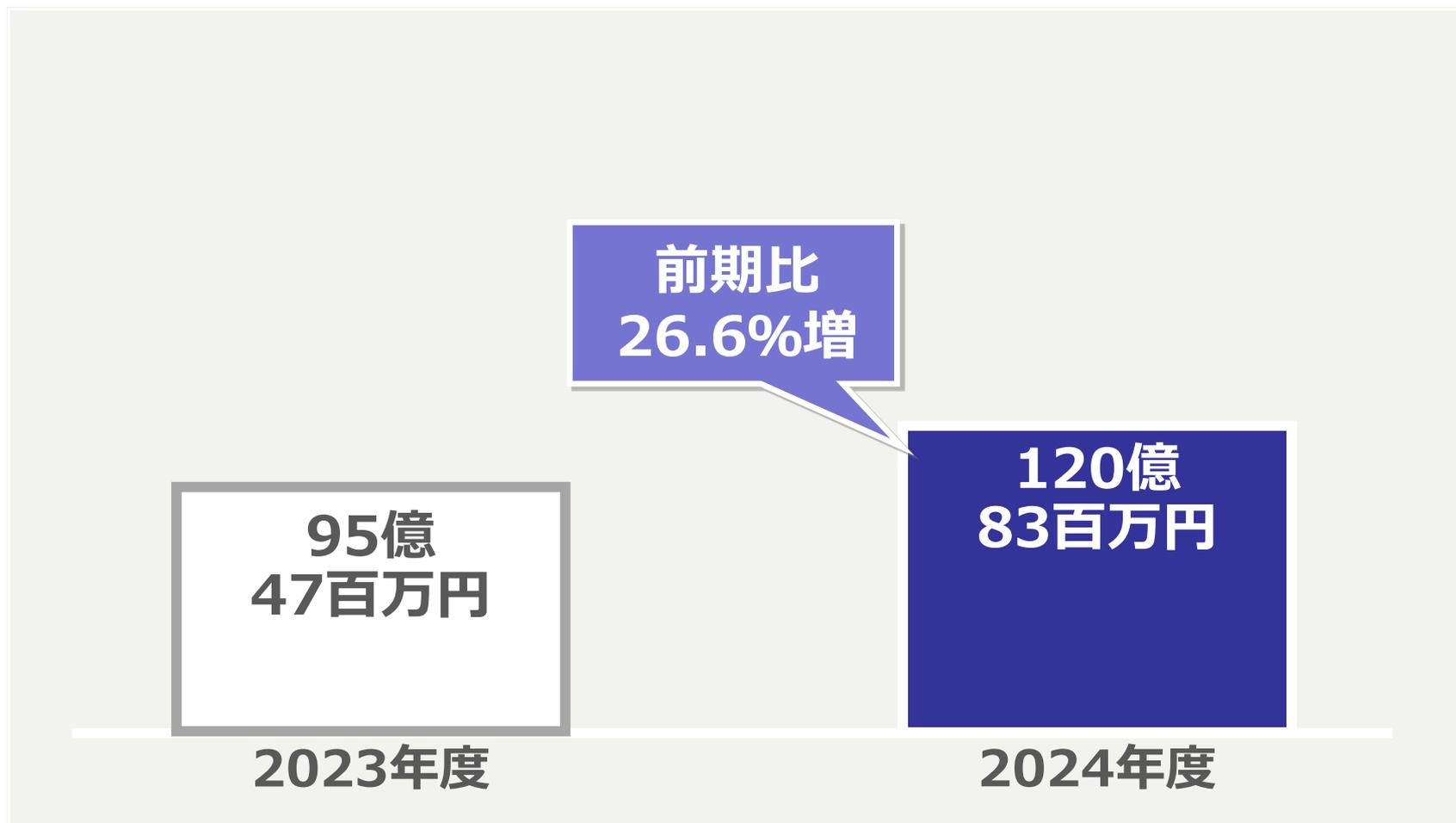
1,204億8百万円



二輪事業

営業利益

120億83百万円



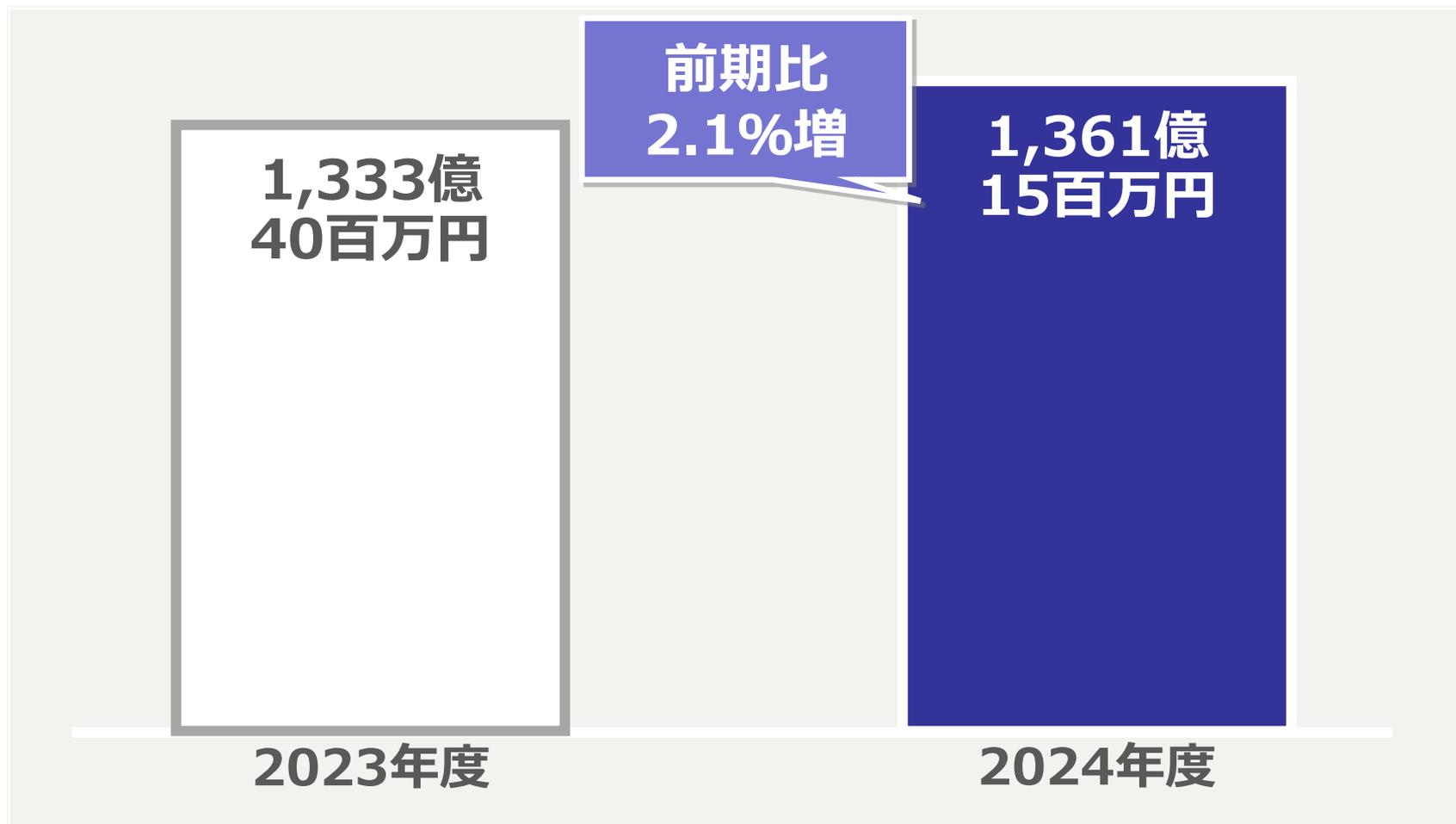


四輪事業

四輪事業

売上収益

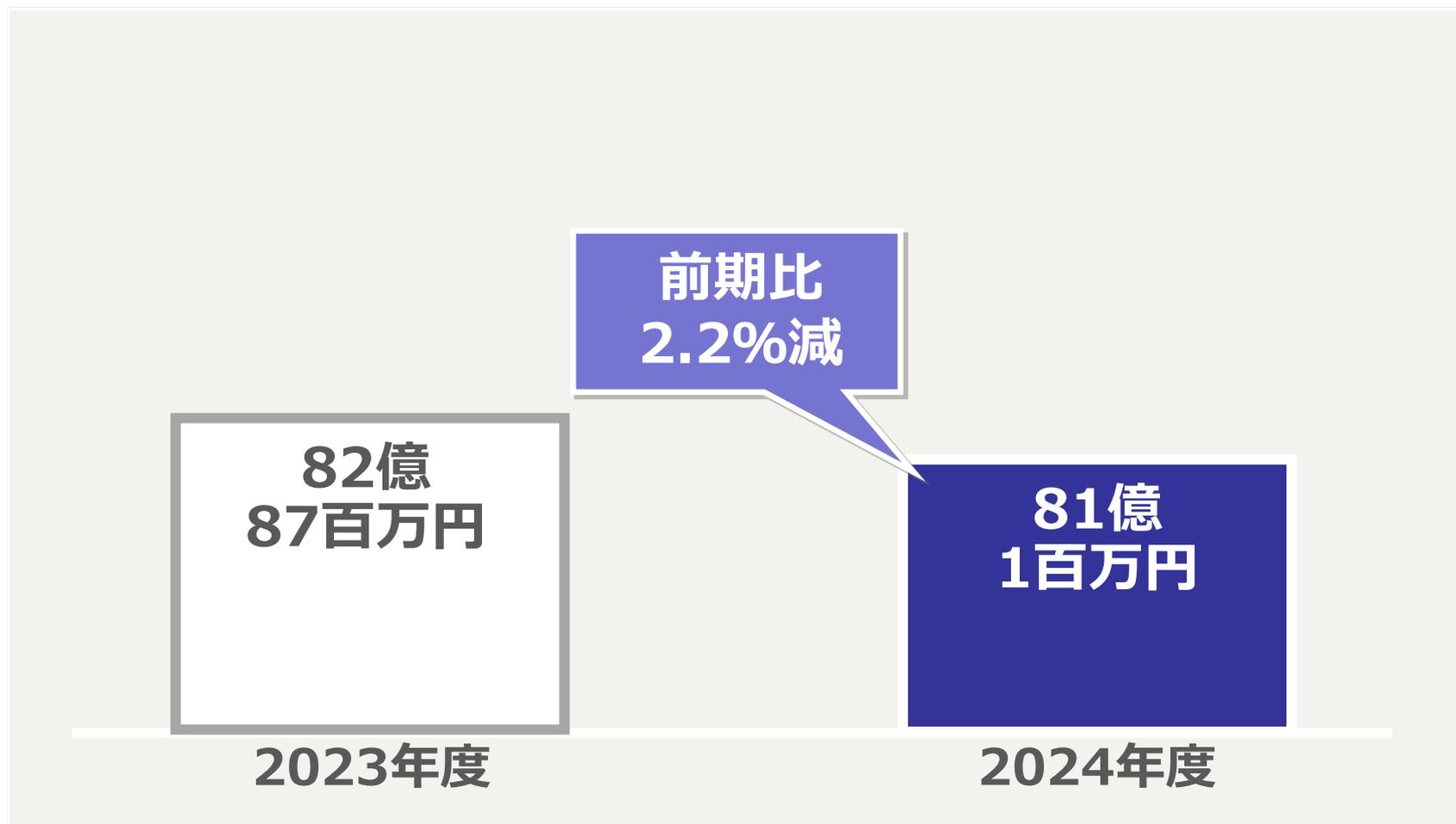
1,361億15百万円



四輪事業

営業利益

81億1百万円



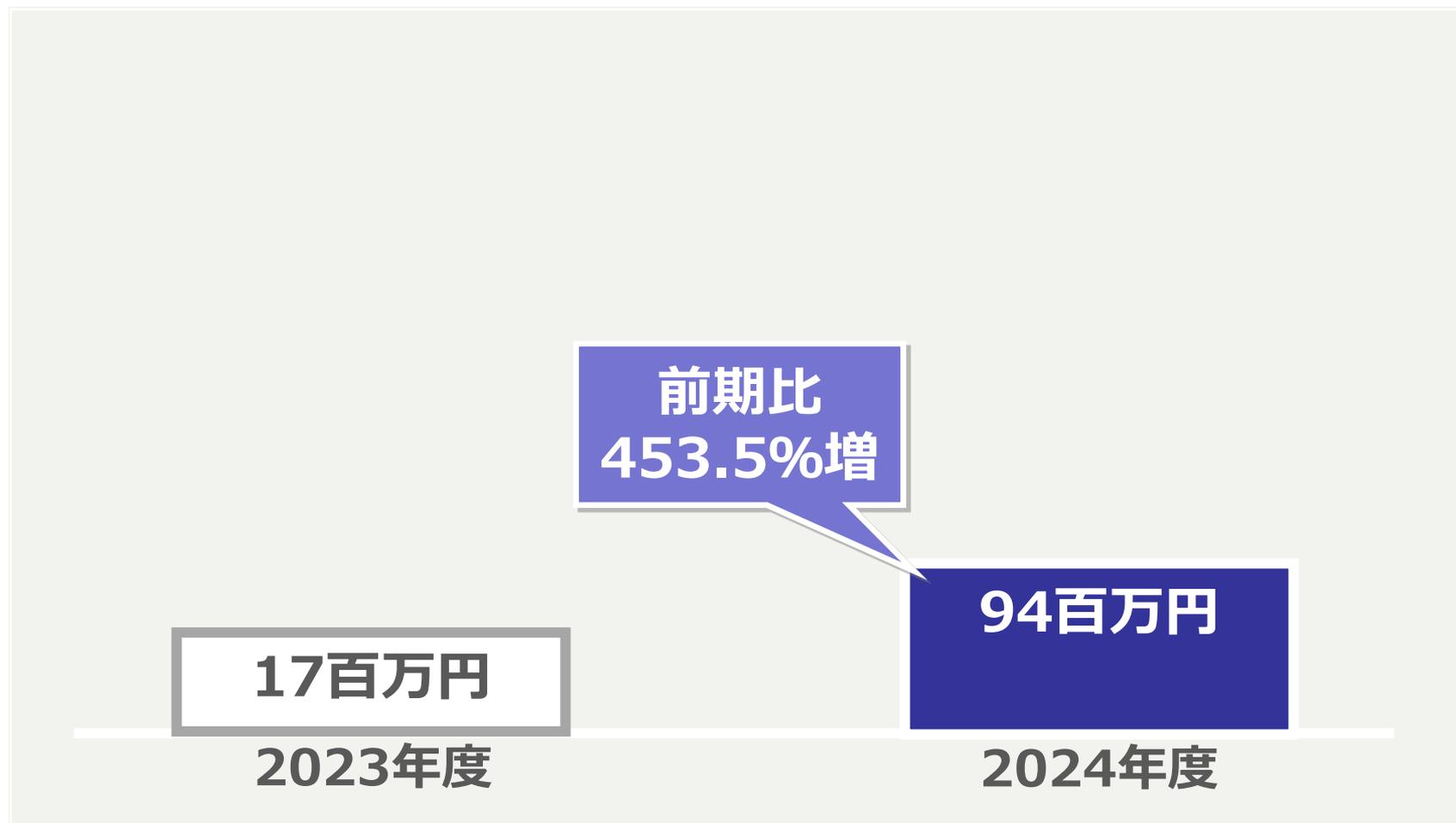


非モビリティ事業

非モビリティ事業

売上収益

94百万円



非モビリティ事業

営業損益

△28億55百万円

△27億
32百万円

2023年度

△28億
55百万円

2024年度

対処すべき課題

対処すべき課題

■ 今後の経営環境 短期 ■

景気は緩やかな回復の継続を期待

米国における関税や物価上昇、不安定な国際情勢、金融資本市場の変動等による景気下振れリスク

■ 今後の経営環境 中長期 ■

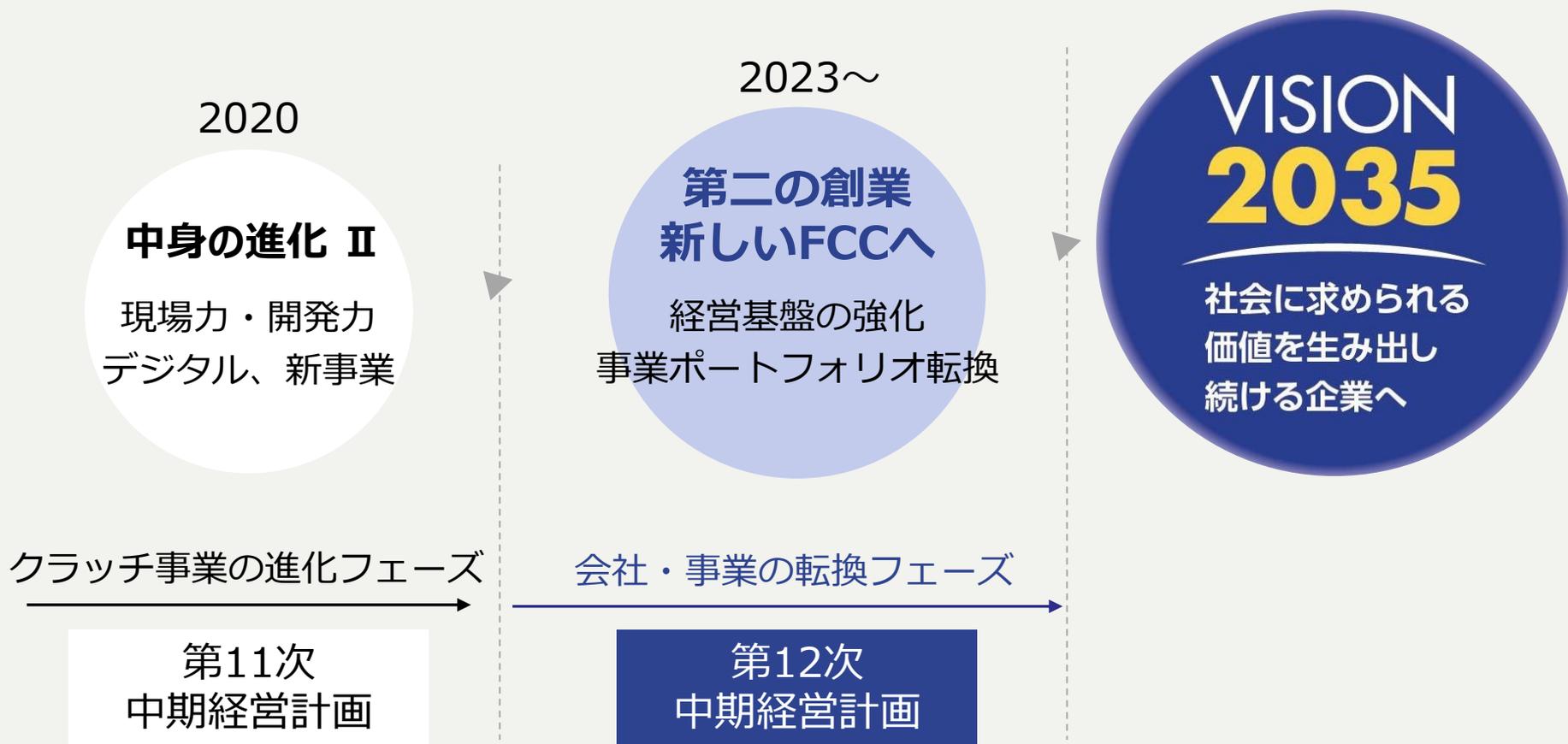
サステナビリティへの意識の高まり

デジタル技術の進展 一層加速

会社・事業の変革が求められる

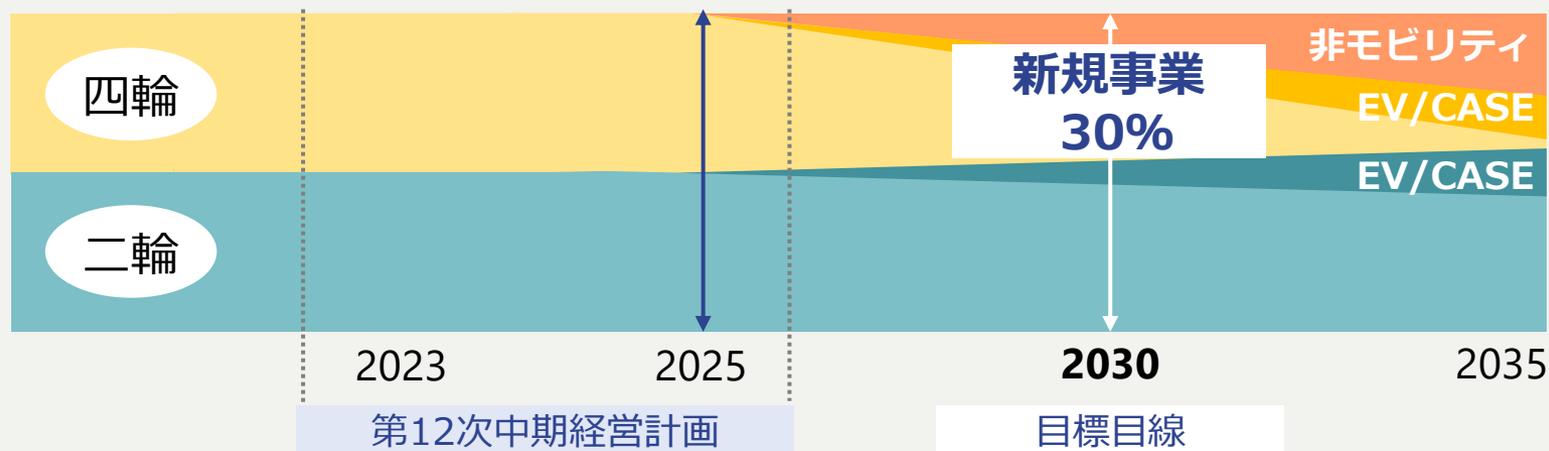
第12次中期経営計画 全体像 1/2

第二の創業に向け、
経営基盤の強化と事業ポートフォリオ転換を推進



第12次中期経営計画 全体像 2/2

モビリティと非モビリティ領域で
新たな価値を提供し続ける企業へ転換



事業方針

新規事業創出の実現
仕込みの継続

DXにより
付加価値の質を変革

選択と集中で
事業収益を最大化

イノベーションを
生み出す基盤づくり

第12次中期経営計画 主要指標の進捗

	2023年度 中計1年目 実績	2024年度 中計2年目 実績	2025年度 中計3年目 目標値
売上収益（億円）	2,403	2,566	2,340
営業利益（億円）	151	173	160
ROE	7.1%	8.6%	8.0%
総還元性向	40.7%	78.2%	40%
ポートフォリオ転換に 向けた取組み	成長領域へリソース投入 一部量産準備移行	受注・量産開始 フェーズへ一部移行	仕込みの完了 売上金額:30億円
為替レート（円/USドル）	144.63	152.58	135.00

目標値を1年前倒して達成

第12次中期経営計画 全社戦略進捗概要

■ 経営基盤の強化 ■

基幹クラッチ事業は計画通り前進

■ 事業ポートフォリオ転換 ■

二輪や四輪を中心とするモビリティの
EV/CASE領域が先行して前進

事業進捗状況（カテゴリー別） 1/6

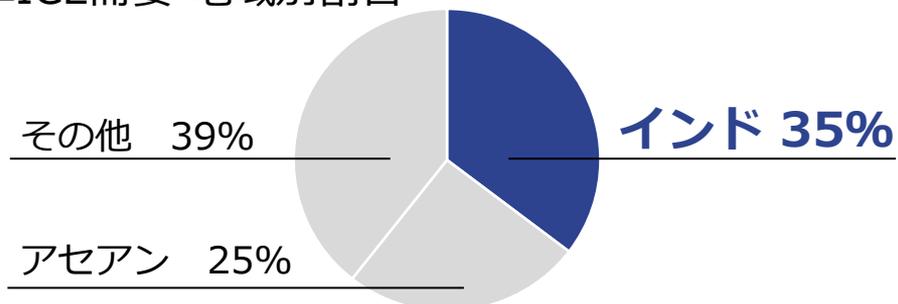
二輪事業

基幹クラッチ

二輪車ICE 世界需要予測（台数）

二輪車ICE需要 地域別割合

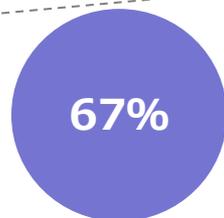
※2024年度自社調べ



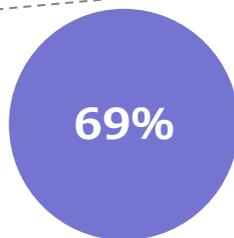
二輪車の世界市場の内
約4割を占める巨大な
マーケット

インドにおける当社シェア推移

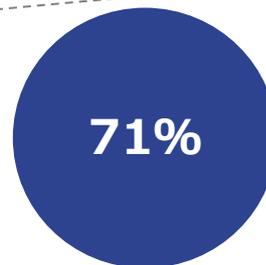
2022年度



2023年度



2024年度



グローバル
マーケットリーダー
として
今後もさらなる
事業拡大へ

全てのOEMメーカーへ
小型～大型の排気量 製品開発と投入を推進

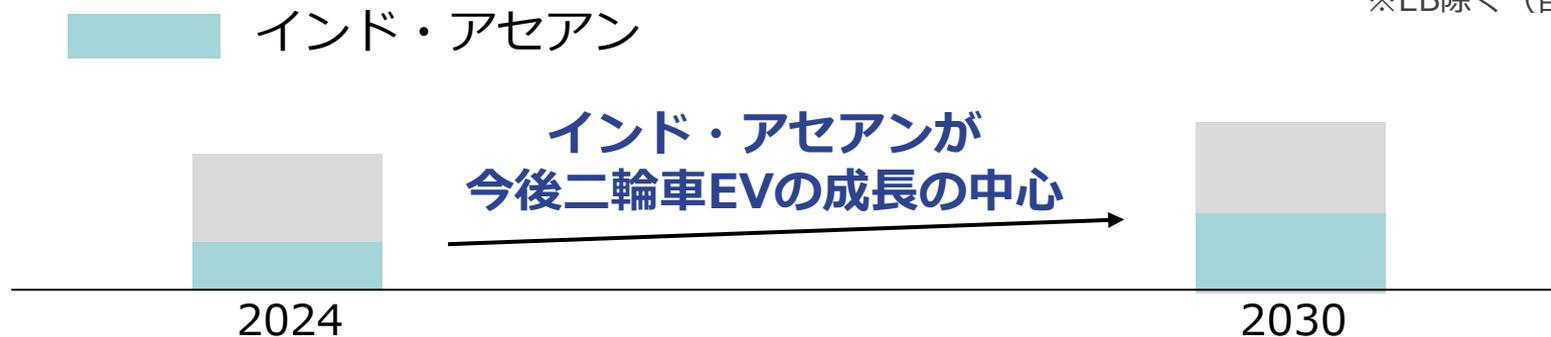
事業進捗状況（カテゴリー別） 2/6

二輪事業

EV/CASE

二輪車EV 世界需要予測（台数）

※EB除く（自社調べ）



二輪電動化事業における3つの領域

電動基幹部品

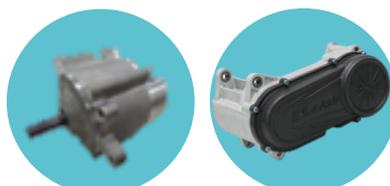
モータコア等



HONDA社より受注
(インド・インドネシア)

パワーユニット

モータAssy・
PCU/VCU・e-Axle



DAT BIKE社より受注
戦略パートナーへ (ベトナム)

更なる付加価値

データを活用したサービス



他社との協業
(インド・アセアン)

事業進捗状況（カテゴリー別） 3/6

四輪事業

基幹クラッチ

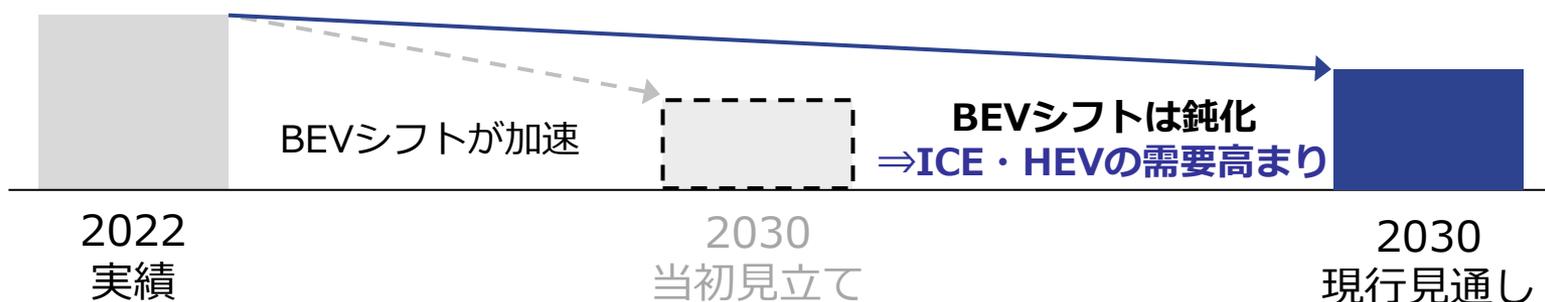
EV/CASE

四輪事業需要見通し（ICE・HEV、台数）

※自社調べ

2030年の基幹クラッチ事業の見通しを上方修正

（当初）▲50%想定 （現行）▲30%～▲40%を想定



ICE・HEV・BEV動向に応じた対応力

ICE/HEV

- HEVクラッチ製品の拡大や開発リソース投入
- ICE生産ライン有効活用で利益体質の維持継続

BEV

- 中国で積層モータコア量産準備
- 米国・中国大手EVメーカー向けアルミ製品受注

事業進捗状況（カテゴリー別） 4/6

非モビリティ事業

コア技術の深堀と事業開発

■ケミカル

先進素材機能を製品実装

■メカトロ

機能や性能を最大限発揮できる
構造体の設計製造

FCCコア技術
(ケミカル・メカ) を

融合



積極的な
協業

狙うべき領域

成長市場

半導体業界

セラミックセッター



バッテリー業界

カーボンナノチューブ導電助剤



社会課題解決

カーボンニュートラル

気体吸着

H₂

CO₂

合成触媒

事業進捗状況（カテゴリー別） 5/6

ESG（E:環境）

CO₂排出量削減に向けた取組み

2024年度CO₂排出量（前年度比） 8%削減

2030年CO₂排出量50%削減目標（2013年度比） 全体では目標未達

国内

主にCO₂フリー電気導入

▶ 目標達成

海外

主に太陽光発電設備導入などの施策の推進は行ったものの、生産量が増加

▶ 目標未達

CO₂削減に向けた施策の導入と、新規事業創出の両面で推進

事業進捗状況（カテゴリー別） 6/6

ESG (S:社会)

3つの柱を中心にイノベーション創出に向けた基盤づくり

多様性

柔軟な働き方を支える制度強化

- 取組事例：育児や介護と仕事の両立化

人材育成

「新しいFCC」実現に向けた人材育成の再設計

- 取組事例：学びの場の提供、女性キャリア形成・研修

エンゲージメント

従業員持株会向け、
「譲渡制限付き株式インセンティブ制度」導入

従業員持株会加入率

制度導入前：
約20%

制度導入後：
約80%

財務戦略進捗状況 1/2

キャッシュアロケーション 進捗

2024年度投資実績

成長投資（開発費含む）

160億円

- 二輪・四輪のEV/CASE領域における設備投資や開発費の投入
- モータコアをはじめとするEV/CASE製品事業開発の加速
- カーボンナノチューブの量産設備の導入、
事業創出・本社機能をより高めるためのオフィス兼開発センター

基幹クラッチ事業投資

80億円

- 今後成長が期待される二輪事業を中心に投資を実施

財務戦略進捗状況 2/2

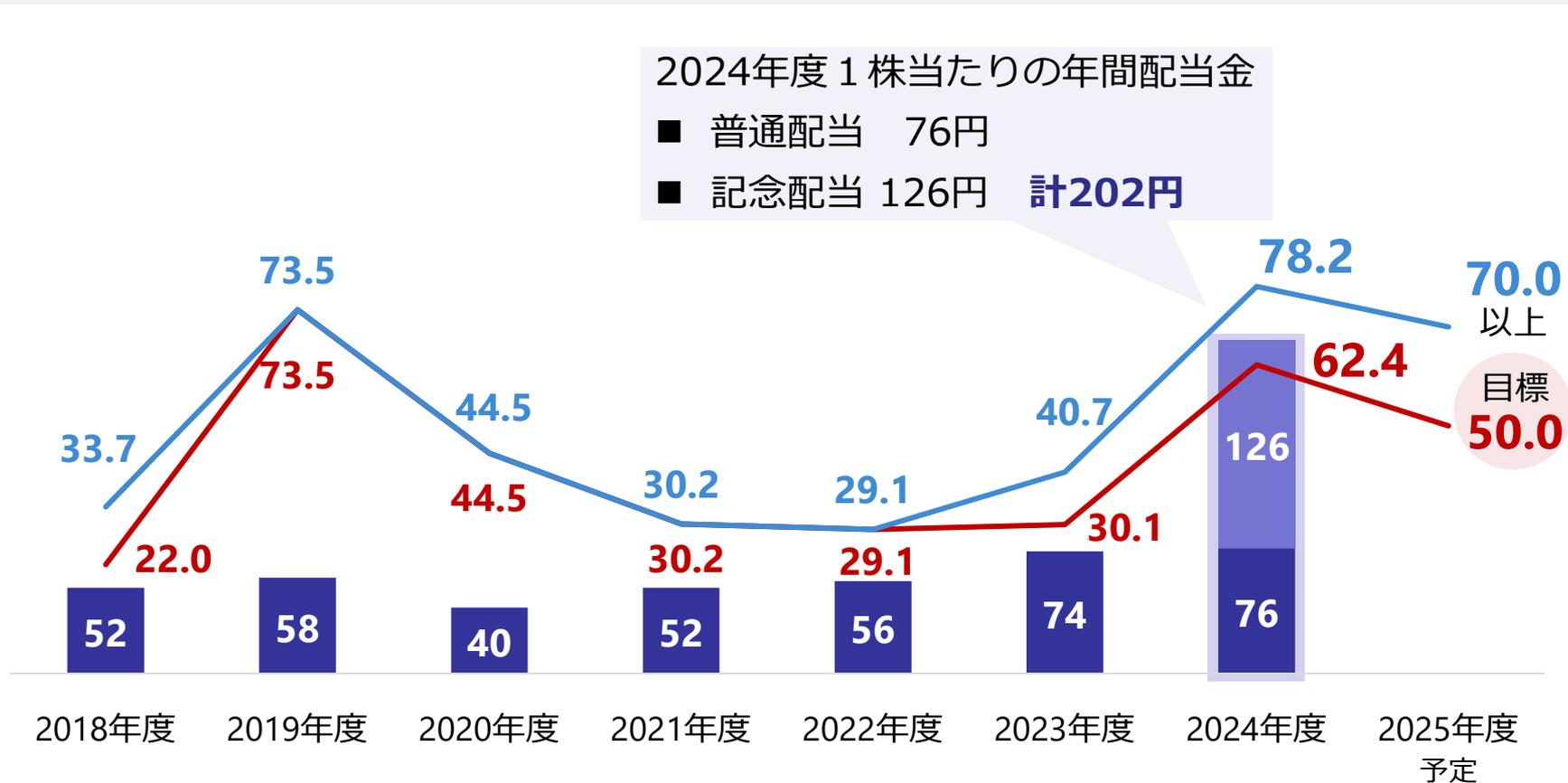
株主還元

普通配当 (単位：円)

記念配当 (単位：円)

配当性向 (単位：%)

総還元性向 (単位：%)



2025年度の株主還元は、業績見通しと同時に開示予定



第95回定時株主総会

議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）

6名選任の件

議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。） 6名選任の件

再任

齋藤 善敬

再任

鈴木 一人

再任

向山 敦浩

再任

中谷 賢史

再任

社外

独立

腰塚 國博

再任

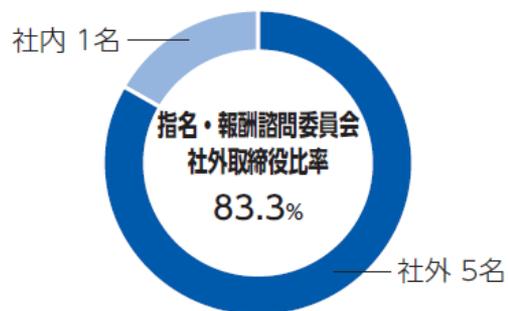
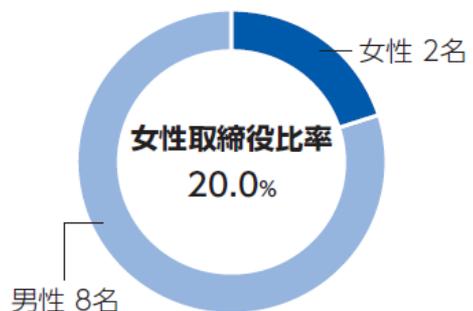
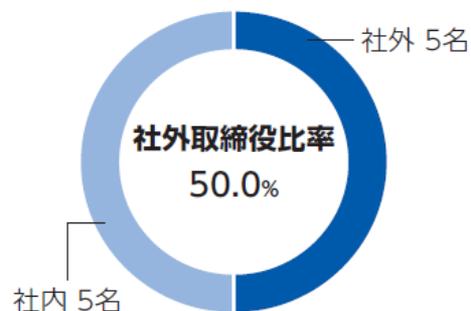
社外

独立

小林 和徳

株主総会後の取締役会の体制

氏名	地位	指名・報酬 諮問委員会	企業経営	製造/技術 研究開発	営業 マーケティング	事業開発 M&A	デジタル IT/ICT/DX	財務/会計	法務 コンプライアンス	グローバル 経験
さいとう よしたか 齋藤 善敬	代表取締役社長	○	●			●	●			●
すずき かずと 鈴木 一人	専務取締役		●	●						●
むこうやま あつひろ 向山 敦浩	常務取締役		●	●						●
なかや さとし 中谷 賢史	常務取締役		●		●					●
こしづか くにひろ 腰塚 國博	社外取締役	○	●	●		●	●			●
こばやし かずのり 小林 和徳	社外取締役	○	●		●	●				●
つばい あきら 坪井 彰	取締役 常勤監査等委員		●	●						●
すぎやま かずもと 杉山 一統	社外取締役 監査等委員	○							●	
やまもとま ゆみ 山本真由美	社外取締役 監査等委員	○						●		
かわしま た え 河島 多恵	社外取締役 監査等委員	○							●	



(注) 各取締役の全ての知見や経験を表すものではありません。

事前質問

事前質問①

補償費用（製品保証関連）の計上について

- ・ 計上金額の拡大がみえる、今後も発生するのか
- ・ 対策は

2024年度で計上した当該費用は、2件

- ① 四輪事業、米国において特定顧客に納入した一部製品に関連した不具合に関する改修費用
特定顧客からの保証期間の再延長が行われたことから不具合発生台数予測に基づき追加計上
- ② 二輪事業、アジア地域において特定顧客に納入した特定一機種に関連した不具合に関する改修費用

- ・ いずれも、現時点で合理的に見込まれる改修費用を計上
- ・ 再発防止対策は実施済であり、他製品への波及は無し
- ▶ 改めて、品質を重要経営課題として強化

事前質問②

2025年度の業績及び配当の開示について

- ・ 当社が非開示である理由
（レンジによる開示等検討ができたのでは）
- ・ DOE（株主資本配当率）の採用は

当社の四輪事業の大部分を占める米国における関税の影響等を慎重に見極める必要があり、出来るだけ精度の高い開示を図るため、業績は非開示

合理的な算定が可能となった時点で速やかに、業績・配当額についても開示を予定

配当方針については、次期中期経営計画にて検討

報告事項に関する質疑 議案の審議

報告事項に関する質疑

ご質問は、以下にてお願い申し上げます

- **ご挙手**
- **議長指名後、入場票番号をご発言**
- **一度の挙手で、一質問**

議案の採決

議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）

6名選任の件



第95回定時株主総会